

南魚沼市民病院健康講演会（2019年10月5日）

白内障 ～入院手術も悪くない～

多くの方々にお集まりいただき、講演後多数のご質問をいただきました。会場でそれらのご質問のお答えいたしました。よりわかりやすいように補足をいたしました。

Q1. 南魚沼市民病院で取り扱っている眼内レンズについて教えてください。

A. 目的別に4種類のレンズがあります。

1) 単焦点レンズ（保険適応）

特徴；最も多く使用している眼内レンズです。構造がシンプルでくっきり見えるレンズです。

欠点；単焦点のため、遠くに合わせると近くは老眼鏡が必要になり、近くに合わせると、近視の状態になるので通常の生活にはメガネが必要になります。

2) 単焦点乱視矯正レンズ（保険適応）

特徴；加齢とともに乱視が強くなります。強い乱視に対し、それを矯正しよりはっきり見えるようになります。

欠点；当院では乱視を弱くする目的で使用しており、全く乱視がなくなることはありません。また、乱視の原因にはいろいろあり、効果のない目もあります。

3) 焦点のあう範囲が広いレンズ（保険適応）

特徴；日常生活に必要な視力を保ちつつ、ある程度の距離まで見える範囲が広がったレンズです。

欠点；保険適応外の多焦点眼内レンズとは異なりますので、付加価値程度に考えていただく必要があります。また、このレンズを使用できる患者さんは使用できる条件があり、すべての患者さんに使用できるものではありません。

より詳しく知りたい方へ、当院で使用しているレンズについては、眼科でご相談ください。

4) 多焦点眼内レンズ (保険適応外)

いわゆる遠近両用の眼内レンズです。

特徴：遠くと近くが見えるレンズです。

欠点：保険適応外のため高価です。当院での価格は、両目の手術は90万円（消費税別）と極めて高価です。また、複雑な構造しているために、単焦点レンズほどくっきり見えません。特に、夜間の運転をされるかたには不向きです。

より詳しく知りたい方へ、当院で使用しているレンズについては、眼科でご相談ください。

保険適応内のレンズにつきましては、どのレンズを使用しても料金は変わりません。ただ、どのレンズを選択するかは患者さんの希望も伺いつつ、専門的な知識が必要なため、最終決定は手術を行う私が決めております。

Q2. 手術で入れた眼内レンズはのちに入れ替えが必要ですか？

A. 手術後度数が全く合わないという事例を除いては、入れ替えの必要がありません。

しかし、一部のメーカーや、国内で認証されていない個人輸入された眼内レンズでは術後短期で曇ってしまい、再手術が必要になったレンズもあります。当院ではそのようなメーカーのレンズは採用しておりませんのでご安心ください。

Q3. 白内障の予防方法はありますか？また、よいサプリメントがあれば教えてください。

A. 残念ながらありません。過去にも、「めぐすりの木」を煎じて飲むと良いなど、民間療法がありました。科学的に有効性は実証されておりません。ブルーベリーなどの栄養補助食品も、戦時下の低栄養の時代では有効でしたが、現代の普通の食生活をしている環境では有効ではありません。

処方箋の医薬のカタリン点眼やカリーユニ点眼薬は厚生省が認可した点眼にな

りますが、進行を遅らせる効果はあっても改善はありません。

このご質問に追加しますが、白内障とは、卵のしろみが生だと透明ですが、加熱すると白濁します。この現象が白内障のたとえにちょうどよく、この白濁したしろみを透明に戻すことができれば白内障の理想的治療になります。

Q4. 白内障手術後の安静について教えてください。

A. 当院では、手術後 1 時間の安静ののち、異変がなければそこで安静解除になります。安静解除後は、飲食や院内の行動に制限はありません。

Q5. 白内障手術を両眼同時に手術する施設がありますが、そのメリットとデメリットについて教えてください。

A. メリット：手術室という特殊な場所に一度入るだけで良い点。

元々の度数を大きく変える場合、片眼づつだと 1 週間くらいアンバランスな状態が避けられる点。

デメリット：感染症が起きた時に両眼同時に失うこと。

目標度数とずれた場合両眼ともにずれることになり、両眼ともに手術のしなおしが必要な事。

当院としては、安全性の面から一度の手術は片眼のみとしております。その翌週に反対眼を手術する方針でおります。

Q6. 講演の中で、白内障は徐々に進行するため罹患した事に気付かない患者さんが多いと話しましたが、それなら手術の時期をどうしたら良いのか教えてください。

当科では、人間の目は理想的な構造になっており、人工レンズへの置き換えはあくまでも人工的なものに過ぎない、との考えに基づいております。

講演のなかでもお話ししましたが、70 歳以上のかたの罹患率は少なく見積もつ

でも 90%以上です。ですが、白内障があるだけでは手術の適応になりません。

当科の手術の基準は

- ① 白内障によって日常生活に支障きたすようになった時
- ② 自動車を運転する方は、免許を更新する要件を満たさなくなった時
- ③ 左右の視力の差が大きくなった時
- ④ 社会的失明といわれている、(0.1) より低下した時
- ⑤ 白内障の進行に伴い、他の疾患の合併症が出ている時
です。